

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第26週（令和6年6月24日～令和6年6月30日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- 第26週は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が24週連続、手足口病が3週連続で警報レベルとなっています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌により引き起こされる感染症で、2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛により発症します。咽頭発赤、莓状の舌等の症状の他、しばしば嘔吐を伴います。いずれの年齢でも発症する可能性があります。小児での報告が最も多い疾患です。気になる症状がある場合は病院を受診しましょう。また、本疾患は主に飛まつや接触によって感染するため、手洗い、うがい、咳エチケット等の一般的な感染防止に努めましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	17	456	271	7,195
腸管出血性大腸菌感染症	6	67	71	896
レジオネラ症	2	29	42	870
アメーバ赤痢	1	15	5	249
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	60	26	911
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	2	78
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	47	33	1,101
後天性免疫不全症候群	1	32	16	472
梅毒	11	383	165	6,482

### ■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,330	6.72	1.42	22,754	4.61
インフルエンザ	61	0.31	1.61	809	0.16
RSウイルス感染症	417	3.48	1.17	3,970	1.27
咽頭結膜熱	73	0.61	0.78	2,703	0.86
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 （警報レベル）	985	8.21	1.02	12,682	4.05
感染性胃腸炎	576	4.80	0.83	13,314	4.25
水痘	23	0.19	0.79	687	0.22
手足口病（警報レベル）	1,123	9.36	1.08	19,797	6.31
伝染性紅斑	25	0.21	8.33	266	0.08
突発性発しん	62	0.52	1.35	1,056	0.34
ヘルパンギーナ	208	1.73	1.30	3,358	1.07
流行性耳下腺炎	14	0.12	2.80	230	0.07
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	34	0.05
流行性角結膜炎	6	0.23	1.00	456	0.66
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	10	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	20	0.04
マイコプラズマ肺炎	12	0.80	1.50	192	0.40
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	10	0.02

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。